

日時

2021年7月6日(火)
13時30分～16時15分

参加費無料

要申込

開催形式

Webex Eventsを使用したオンラインによるライブ配信
(録画・カメラ撮影・転載禁止)
※事前録画した動画については、配信期間6月23日～29日です。

公立鳥取環境大学創立20周年記念事業

令和2年度 研究成果報告会



▶ Report1 13:30～14:00

食のみやこ鳥取づくり連携支援計画に基づく地域事業者支援の基盤構築 ～化学分析による栄養・機能性成分の総合的評価



山本 敦史



▶ Report2 14:00～14:30

広がれ!!プロジェクト・ヘルシュ!! 一食のみやこ鳥取づくり連携支援計画に基づく地域事業者支援の基盤構築



竹内 由佳



▶ Report3

※角野研究員の発表については事前収録をし、事前配信

食のみやこ鳥取づくり連携支援計画に基づく地域事業者支援の基盤構築 ～有機質資材の投入が酒造好適米の生産環境に与える影響



角野 貴信



▶ Report4

※太田研究員の発表については事前収録をし、事前配信

鳥取県東部千代川水系における魚類生息環境の見える化を目指して



太田 太郎



▶ Report5 14:40～15:10

地域で発生する廃棄物系バイオマス(廃石膏ボード剥離紙)の混合メタン発酵特性調査およびリサイクル畜産敷料としての利用可能性検討



戸蒔 丈仁



▶ Report6 15:10～15:40

伝統工芸産業を構成する事業者の経営とその技術継承



磯野 誠



▶ Report7 15:40～16:10

古民家「終活」の時代 一持続可能性に潜む諸行無常の理—

ことわり



浅川 滋男



▶ Report8

※足利研究員の発表については事前収録をし、事前配信

星取県の星空ガイドを育てる体験型教材の開発



足利 裕人

※報告の順番・タイトルは変更になることがあります

令和2年度の研究成果報告会は、新型コロナウイルスの現況を考慮し、
ご視聴ご参加可能な形式で実施します。

発表者のご紹介

▶Report1 山本 敦史 Yamamoto, Atsushi 環境学部 准教授 【専門】 分析化学、質量分析 地域未来投資促進法に基づく連携支援計画「食のみやこ鳥取づくり連携支援計画」が2019年12月より始まっています。食材を化学分析することにより、どのような含有成分が含まれているかの解明を進めています。鳥取県産と他地域産の食材間で差の見られる成分に着目した健康・栄養面での優位性の提示など、ブランド化や新製品開発に向けての取り組みについて紹介します。	▶Report2 竹内 由佳 Takeuchi, Yuka 経営学部 准教授 【専門】 流通論、マーケティング論、消費者行動論 マーケティングの力で社会を変えることはできるのか…？昨年度から学生たちと取り組んできた「プロジェクト・ヘルシュ」、本年度は少し中身を変え、シカの獣害問題から地元事業者様とのコラボレーションに発展していきました。マーケティングのちょっと不思議な側面を、ゼミナール学生たちとの格闘(?)の日々についても紹介しながら、説明していきます。
▶Report3 角野 貴信 Kadono, Takanobu 環境学部 准教授 【専門】 生物地球科学、土壌学 本学を中心とした鳥取県内の8機関は「食のみやこ鳥取づくり連携支援計画」を策定し、農林水産及び食品関連事業者に対して、ブランド化・高付加価値化の事業支援を行う枠組みが新たに成立した。本研究では、地域の循環型・持続可能な農業のブランド化につなげるべく、酒造好適米である山田錦等を作付けしている水田の生産環境を解析した。	▶Report4 太田 太郎 Ohta, Taro 環境学部 准教授 【専門】 魚類生態学、水産資源生物学、漁業制度 川は人々の生活に深く根ざしており、水を利用するため、治めるために様々な改変を加えてきました。鳥取県東部を流れる千代川でも、特に戦後から昭和後期にかけて、その形は大きく変わりましたが、そこに住む生物の情報については十分把握出来ていない現状にあります。本研究では千代川水系に生息する生物、特に魚類について、その生息環境を地図情報として見える化する取組を開始したので、紹介します。
▶Report5 戸苅 丈仁 Togari, Taketo 環境学部 准教授 【専門】 下水工学、水処理工学、バイオマス利活用(汚泥処理)、水環境保全 地域で発生する様々な有機性廃棄物からエネルギー回収が可能な処理方式としてメタン発酵が注目されています。本研究では、鳥取県西部の廃棄物処理場で処理されている「廃石膏ボード剥離紙」に着目し、メタン発酵の基質としての特性や、リサイクル敷料としての利用可能性を、室内基礎実験(回分式実験、連続式実験、基質組成分析、排水分析など)によって調査しました。	▶Report6 磯野 誠 Isono, Makoto 経営学部 教授 【専門】 マーケティング、新商品開発、ブランド、デザイン 伝統工芸産業を担う事業者が、技術を継承しつつ、経営を成り立たせるためには、何が求められるのでしょうか。繊維産業における事業者を対象とした事例分析から、次の知見を導きました。すなわち経営を成立させるためには、技術に依存する生産効率の程度と製品意味づけの程度とを、バランスさせることが必要であることが考えられます。
▶Report7 浅川 滋男 Asakawa, Shigeo 環境学部 教授 【専門】 文化遺産学、住環境保全論、建築人類学、考古学 文化財指定を目的に調査・刊行された「鳥取県の民家」(鳥取県教委1974)、「秋田県の近代化遺産」(秋田県教委1992)掲載の文化遺産を再訪し、その実態を分類した。鳥取の場合、県・町の指定した文化財民家が4件も「指定解除」に至り、秋田の産業遺産では25件以上の国登録文化遺産が誕生したが、うち10件以上が登録抹消に陥っている。未指定の場合はすでに空家・空地化は当たり前である。過疎、豪雪・地震などの災害、アメニティの欠如、財政難などが背景にあり、すでに民家等歴史的建造物の保全・活用を暢気に提案していればよい時代ではなくなっている。むしろ、それらを「廃棄物」として自覚し、「安寧な終活」の手法を洗練させていく必要を痛感している。こうした民家集落等の状況から過疎地持続の不可能性の問題にも言及する。	▶Report8 足利 裕人 Ashikaga, Hiroto 名誉教授 【専門】 理科教育、情報教育、物理学 星取県の課題の一つに、一般市民に星空を案内し、観察の楽しさを伝えられるガイドが少ないことがある。星空の美しさとは裏腹に、天体教育そのものが難しいのも問題である。本研究では、小中学校の天体教材を見直した新規教材を開発し、さらに星空撮影の醍醐味や、星の光のスペクトル解析等の物理学的知見を加えた総合的な体験型教材開発を進めた。

《申込方法》

①氏名 ②連絡先(電話番号とEメール) ③勤務先の業種名を電話もしくは電子メールで
下記の申込先へご連絡ください。申込者には追って参加用URL等をご案内します。

※オンラインによるライブ配信は、Webex Eventsのシステムを使用します。
※必要な物: インターネット環境、Webカメラ付PCまたはモバイル端末
※事前録画した動画の視聴申込もQRコードよりお願いします。

【お問合せ・申込先】
公立鳥取環境大学 地域イノベーション研究センター

